

社会福祉法人淡路島福祉会 2024（令和6）年度 事業方針

「地域に親しまれ 信頼される 福祉事業所に」を基本理念に掲げる我々が、何を行い、何を目指していくのかをみんなで考え、将来に渡って価値のある組織であり続けるために、以下のことに取り組みます。

- ・淡路島福祉会としてのブランディングを行い、法人の価値を高めます。
- ・然るべき事業所に管理者に次ぐポストを設け、従業員のキャリアアップと次世代の育成に取り組みます。
- ・法人の組織図と各委員会を再編し、世代や社内等級を超えた意見交換ができる場の構築を目指します。
- ・各事業所で入居率・稼働率について具体的な数値目標を設定し、積極的な利用者受け入れに取り組みます。
- ・「目的」と「手段」について熟慮し、費用対効果を意識した業務の組み立てを行います。
- ・各サービスにおける支出の内容を分析し、不要なコストの削減に取り組みます。
- ・数年間、途絶えがちであった地域との繋がりを、今の価値観や規模に沿った形で再構築します。
- ・緊急時への備えとして、BCP 運用に関する継続的な研修実施と、ほっとかへんネット（社会福祉法人連絡協議会）と連携した DWAT 協力体制を整えます。
- ・安全運転、事故防止のマニュアルを整備し、法人車両の安全運転を徹底します。
- ・法人が運用する全車両に法人のロゴマークとテレマティクスを搭載し、適切な車両運用に取り組みます。
- ・従業員の昼食について、働く活力に繋がる食事と経営面でのコスト管理の両立を目指した抜本的な見直しを行います。
- ・業務に関する表彰制度を設け、働き方に関わらず多くの従業員が評価され、活躍できる組織とします。
- ・有給休暇以外に、年に1回、従業員が「記念日特別休暇（仮称）」を申請できる規定の制定を目指します。
- ・現在の医療費補助制度を見直し、従業員が健康維持や体調管理に活用できる新たな規程の作成に取り組みます。